

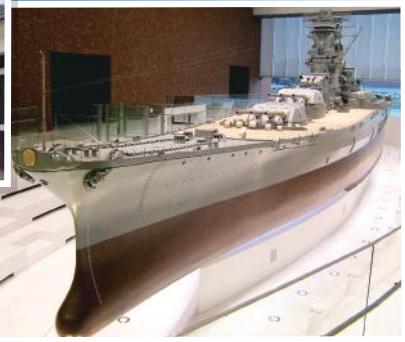
Vol.20

INDEX

- 融資の実 広島県呉市 呉市役所庁舎 ----- P01
- がんばる公営競技 伊勢崎オートレース ----- P05
- 自治体ファイナンスよもやま話 ----- P07
- 地方支援ダイアリー ----- P09
- 基金運用ひとくちメモ ----- P11
- 人事交流日記&ふるさと紹介 ----- P13
- 編集後記 ----- P14
- 機構からのお知らせ ----- P15
- 私たちもJFM債買ってます！ ----- P15

今号の表紙

広島県呉市 呉市役所庁舎



地方公共団体金融機構
Japan Finance Organization for Municipalities



Feature

広島県呉市
呉市役所庁舎

呉市の新たなランドマーク 次世代への持続・発展を象徴する新庁舎

呉市の新たなランドマークとなる市役所新庁舎が、平成27年12月に完成し、28年2月から業務を開始しました。新庁舎は、『市民と共に～絆と信頼「安全・安心」の庁舎～』を基本理念に、次世代に引き継ぐ資産として建設されました。重厚さの中に未来へと続く技術の融合をイメージした、新たなまちのシンボルとしてふさわしい堂々たる姿が印象的です。



庁舎建設に至る長い道のり

「昭和37年に建設された旧庁舎は、平成7年に発生した阪神・淡路大震災を受け、9年に耐震診断を実施したところ、『震度6程度の地震でせん断破壊のおそれがある』との結果が出ました。そこで設置された呉市庁舎整備検討懇話会において検討され、『財政的に大きな負担があるにしても建て替えるべきである』との提言を受けました。」（呉市総務部・先岡孝幸参事補／「内」のコメント以下同）

その後、いわゆる『平成の大合併』により、平成15年には下蒲刈町と合併、16年には川尻町と合併、更に17年には音戸町、倉橋町、蒲刈町、安浦町、豊浜町及び豊町と合併し、『新呉市』が誕生しました。

『新呉市』では、庁舎建設は長年の懸案事項であるものの、まずは財政の健全化を優先することとなり、平成19年度に『財政集中改革プログラム』を策定し、翌20年度から5年間取り組むこととなりました。

平成23年2月に『財政集中改革プログラム』の達成に見通しが立ったことから、新庁舎の建設に向けて調査・検討を進め、数々の手続きを経て、24年12月には建設工事入札の運びとなりました。当初、工事に伴う地元貢献や技術提案を求めた総合評価方式により入札を実施しましたが2回の中止、25年7月に入札方式を一般競争入札に変更して3回目の入札を実施し、同年10月の着工に至ったものの、インフレスライド

のため2回契約を変更し、27年12月にようやく完成に至りました。

「庁舎建設を振り返り、平成13年に芸予地震が発生し、市庁舎は震度5強の揺れにより多数の亀裂が入る被害を受け、更に23年の東日本大震災を目の当たりにし、危機感を抱くとともに、市庁舎が防災拠点としてしっかり機能することの重要さを痛感しました。」

合併後、財政健全化に取り組んだ上、合併により合併特例債を活用することができたので、市の財政負担を軽減して建設することができました。

6つの基本コンセプト

新庁舎は、庁舎棟（地上9階）、議会棟（地上4階）、市民ホール棟（地上3階）、駐車場棟（地上5階）の4棟から構成され、『市民の生命と財産を守る庁舎』、『市民にやさしい庁舎』、『市民のまちづくりの拠点となる庁舎』、『吳らしさが感じられる庁舎』、『多機能で環境にやさしい庁舎』、『将来の変化に対応できる庁舎』の6つの基本コンセプトのもと設計されました。

『市民の生命と財産を守る庁舎』としては、庁舎棟、議会棟及び市民ホール棟に免震構造を採用して高い耐震性を有し、防災会議室、情報管制室を常設し、大災害時には、くれ縄ホールやシビックモール等も活用して対策・復興本部機能を備えた



防災拠点として活用されます。581席のくれ縛ホールは、1階を平面空間にできる可動式客席を導入し、国や県、警察、自衛隊、海上保安部、ライフライン関係者、医療関係者等からなる災害対策支援本部として使われることを想定しています。また、くれ協働センターはボランティアセンターとして、公共空間であるシビックモールは、災害状況や安否情報等の情報発信をはじめ、市民への物資の配布スペースとして機能します。

『吳らしさが感じられる庁舎』としては、建物デザインに関して、吳らしさがイメージでき、長く愛され親しまれるデザイン、周辺の環境と調和したデザイン、重厚を感じさせるデザインを追求しています。「吳の歴史的建造物である海上自衛隊吳地方総監部庁舎(旧吳鎮守府庁舎)などに見られる建築様式をモチーフとして、低層部に御影石を用い、特にメインエントランスの9本の柱には、国会議事堂にも使用されている地元倉橋島産の桜御影石を採用しています。」高層部は磁器質タイルを主に、ステンレスやアルミのアクセントを加えた縦型ルーバーを配し、未来へと続く技術の象徴を表現しています。また、緑豊かな環境と調和するよう、外壁は

アイボリーを基調としたやわらかな色調とし、周囲の山並みをイメージした緑色の寄せ棟の屋根を設けています。

『多機能で環境にやさしい庁舎』としては、庁舎内にLED照明を採用し、消費電力の低減につながる人感センサーの導入、事務室の二重サッシ構造など、省エネルギー化を基本にトータルライフコストに配慮しています。1階に採用した床暖房は光熱費のランニングコストを抑えるとともに、やさしい暖房による快適な室内環境をつくり出しています。

『市民にやさしい庁舎』としては、「庁舎棟1階に総合窓口を新設し、旧庁舎では分散していた窓口を集約して、訪れる方の用件がスムーズに済むワンストップサービスを実現しました。更に、広々とした開放的なフロアや分かりやすいサイン表示、おやこトイレや多目的トイレ、授乳室、二段手すりなどを設置して、誰もが安全・安心・快適に利用できるユニバーサルデザインを導入し、市民目線の庁舎を目指しました。」

新庁舎には、1日平均2000人を超える利用者が訪れています。市が行ったアンケートなどによる利用実態調査では、窓口が分かりやすくなったり、明るくて快適になったなどの意見が多く、市民からは高い評価を得ています。



すべての市民、職員にとっての快適を目指す

新庁舎建設に際し、職場環境改善のため、若い職員や女性職員の意見を積極的に取り入れました。「各階に昼食に利用できる休憩室を設けました。これにより、事務室内での飲食を禁止したので、来庁者、職員とも気まずい思いをしなくなりました。また、シャワー室や和室は、24時間体制が必要な

非常時にも機能する施設として設置しています。」事務机は規則的なレイアウトで固定されていて、人事異動の際は、各自のキャスター付きワゴンを移動させるだけで済むよう機能性に配慮されています。また、慢性的に数が不足し、庁舎外の公共施設を利用することもあった会議室や資料を保管する書庫も十分に備え、業務の効率化を実現しています。「新庁舎は、すべての市民、職員にとっての快適を目指した、呉市の今後100年を見据えたランドマークです。」

「日本遺産」に選定された歴史あるまち。多彩な観光資源が魅力の呉市。

平成28年4月に中核市に指定された呉市は、広島県の南西部に位置し、瀬戸内海に面した気候温和で自然に恵まれた臨海都市です。

明治時代には呉鎮守府が開庁し、呉海軍工廠において戦艦大和が建造されるなど、帝国海軍の拠点として栄えました。呉海軍工廠は優れた造船技術を持ち、先進的な鉄鋼製造研究も行われていました。戦後、軍需基地としての都市基盤は失いましたが、平和産業港湾都市への転換を目指す旧軍港市転換法が制定されたことにより、旧軍施設への積極的な企業誘致が行われ、造船、鉄鋼、機械金属、パルプ等の企業が相次いで進出し、臨海工業地帯としての基盤を確立しました。また、旧呉鎮守府庁舎が呉地方総監部庁舎として使用され、海上自衛隊呉地方隊が置かれるなど、引き続き海上防衛の拠点となっています。

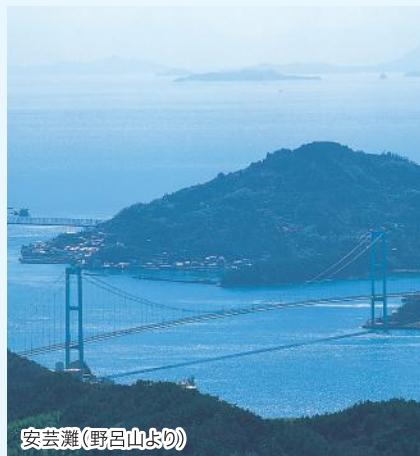
現在では、呉港エリアにある「大和ミュージアム（呉市海事歴史科学館）」や「てつのくじら館（海上自衛隊呉歴史館）」などで呉

の歴史等を知ることができます。連日多くの人々が訪れています。

また、島しょ部の史跡や自然も注目を集めており、安芸灘とびしま海道と呼ばれる7島には、江戸時代に朝鮮通信使を迎えた下蒲刈島、国の重要伝統建造物保存地区に選定されている「御手洗の町並み」が残る大崎下島などがあります。その他、音戸エリアには平清盛が1日で切り拓いたと伝えられる名勝地「音戸の瀬戸」、日本の渚・百選に選ばれた「桂浜」のある倉橋島などがあります。

更には平成28年4月、「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーとして、文化庁から「日本遺産」に認定されました。躍動した往時の姿を残す呉市は、どこか懐かしくも逞しく、今も訪れる人々を惹きつけてやみません。

呉市は、瀬戸内の多様な歴史資源と美しい景観を有する魅力にあふれています。



広島県呉市

人口 231,604人（平成28年10月末現在）
世帯数 111,843世帯（平成28年10月末現在）
面積 352.80km²



Introduce

伊勢崎オートレース



オートレース界初のナイター競走を開催
地域に根差したオートレース場

ナイターレース風景

公営競技
“がんばる”

自治体や地域住民に貢献する公営競技

オートレースの醍醐味を映し出す 約1600インチの大型液晶ビジョン

伊勢崎オートレース場は、昭和48年に廃止された東京都の大井オートレース場の代替地として設置され、施設は東京都競馬株式会社が所有し、伊勢崎市が開催運営を行う形で51年10月に初開催されました。平成16年に高崎競馬場が廃止されるまで、群馬県内では、競馬、競輪、オートレース、競艇全ての公営競技が行われていました。

伊勢崎オートレース場は、収容人員約4万人を誇る巨大施設で、走路のバックストレッチ側に設けられた約1600インチの大型液晶ビジョンでは、オートレースの醍醐味である圧倒的なスピードや抜きつ抜かれつの攻防を映し出しています。「平成元年にはオートレース初となるナイター競走を実施し、現在では『ムーンライトナイター』の愛称で親しまれています。ナイター競走の導入により、平日でも仕事帰りにオートレースを楽しむことが可能になり、ファンの拡大につながりました。」(伊勢崎市公営事業部事業課・大和敬典総務係長／「」内のコメント以下同)

お客様が快適に過ごせる 環境づくりを進めて業績を回復

市の一般会計への繰り出しを行った好況な年もありましたが、景気の低迷による売上の減少が続き、平成12年度から16年度までの5年間に大幅な累積赤字を生み出してしまいました。

ました。事業廃止の危機から脱するため、平成17年度に事業収支改善計画を策定し、徹底したコスト削減やファンサービスの向上など経営改善に努めた結果、20年度決算において累積赤字を解消しました。更に平成26年度には15年ぶりに一般会計へ繰り出しを行いました。「様々な取組みに加え、19年に全国のオートレース場で初めて入場を無料化しました。更に座席数1,020席の有料特別観覧席や女性児童コーナーを設けるなど、まずは本場へ来場していただくことを第一に、多くのお客様が快適に過ごせる環境づくりを進め、経営改善を図りました。」

地域に貢献するオートレース

「オートレース事業の大きな使命は、収益の繰り出しを通じて市の財政に寄与することです。また、レース場運営のためには多くのスタッフが必要であり、雇用の場を設けることにもつながっています。」

より身近な地元への貢献として毎年恒例の『いせさき花火大会』の観覧に場内を開放し、伊勢崎市商工会議所青年部が主催する『いせさきもんじゃまつり』をはじめとした各種団体に施設を貸し出し、『いせさき七夕まつり』の華やかな飾りを場内に展示するなど、「地域に根差した場所として、伊勢崎オートレース場に親しみを持っていただけるように取り組んでいます。」



レース後の花火



今回は、群馬県伊勢崎市が運営する伊勢崎オートレースをご紹介します。

伊勢崎オートレース場は、オートレース場として唯一となる地方競馬や中央競馬の場外勝馬投票券発売所も併設され、幅広くファンを受け入れています。また、地元のお祭りやイベントにも協力するなど、地域交流にも積極的に取り組んでいます。

オートレース場にある場外馬券場

東京都競馬株式会社の協力により、平成25年には旧グリーンスタンドに地方競馬の場外勝馬投票券発売所「オフト伊勢崎」を開設し、翌26年には中央競馬の場外発売も取り扱うようになりました。伊勢崎オートレース場は、競馬の場外発売所が設けられている唯一のオートレース場です。「中央競馬の馬券が買えることで土日の来場者が増加していますが、競馬ファンにもオートレースに興味を持つていただくことが今後の課題となります。」

また、新規顧客の獲得、発売チャネルの拡大に向け、オートレース専用場外発売所として平成27年に「オートレース石狩(北海道)」、「オートレース男鹿(秋田県)」、「オートレース六戸(青森県)」、28年に「オートレース船橋(千葉県)」、「オートレース宮城(宮城県)」、「オートレースあだたら(福島県)」を競輪の場外車券発売所に併設する形で相次いで開設、施行管理しています。

「本場開催時には、『鉄馬縁日』と題した家族向けのイベントや走路内観戦、バックヤードの見学、マスコットキャラクター『キラット』の試走誘導などのファンサービス、優勝戦終了後には花火を打ち上げるなどして場内を盛り上げています。平成28年度からはメンバーのうち3人が伊勢崎市出身のロックバンド『LACCO TOWER(ラッコタワー)』の楽曲をレース前の試走BGMや大型液晶ビジョンで紹介するなど、若いファンへのアピールにも力を入れています。」更に、無料開放している『いせさきキッズオートサーキット』では、『伊勢崎キッズバイク』(一般財団法人オートレース振興

協会主催)が毎月開催され、5歳から16歳のキッズが、専用の小型バイクとコースを使って運転の楽しさや技術を学んでいます。

オートレースならではの迫力を本場で

「迫力あるエンジン音、身近で感じるスピードは、オートレースならではの魅力です。インターネット投票や電話投票、場外発売で売上を伸ばすことと同時に、オートレース未体験の方に生のレースを見ていただくこともファン拡大のために重要です。地域や施設所有者などと連携していくことで『もっと楽しく、もっとスリリングなオートレース!』をお届けし、多くのお客様に足を運んでいただけるオートレース場を目指します。」



マスコットキャラクター「キラット」▶



鹿児島県出水市

自治体
ファイナンス

利率見直しにおける新たな取組み ～利率見直しをルール化した覚書の締結を目指す～

自治体ファイナンス・アドバイザー

鍋島 遊



今回は、鹿児島県出水市の、民間資金調達における利率見直し方式への取組みを取り上げます。効率的な資金調達体制を構築していく例として、ご紹介いただきます。

鹿児島県出水市の取組みを、
出水市財政課の皆さんに
ご紹介いただきます。

今回のプレゼンター
渋谷俊彦市長と
財政課の皆さん



利率見直しにおけるルール化への取組み

出水市では平成18年の合併以来、一般会計で発行する市債のほとんどを民間金融機関からの利率の見積り合わせにより調達しており、その多くで利率見直し方式を採用しています。毎年、過去の借入れの利率見直し交渉では金融知識がほとんどない職員が金融機関と交渉を行う必要がありました。

平成25年度に市町村職員中央研修所が機構との共催により開催した研修「資金調達戦略の基本」に職員が参加したことをきっかけに資金調達の知識の重要性を感じ、出前講座を活用して職員の金融知識の習得を図りました。スプレッドの計算方法を学ぶことで償還年数が違う借入利率の適正な比較や過去の借入れを分析することができるようになり、各金融機関の傾向が分かるようになりました。そのほか、基本的な金融知識を習得したことでの金融機関との利率見直し交渉にも臆することなく臨むことができるようになりました。

金融機関との利率見直し交渉で苦労してきた苦い経験を繰り返すまいと研修で得た知識を活かして次の市債借入時に「利率見直しにおけるルール化」に取り組みました。これまでには見直し時期だけが決められており、実際の見直し時にはその時の担当職員が金融機関と交渉を重ねて見直しを行っていましたが、少ない金融知識で金融機関と交渉することは職員にとっても大きな負担となっていました。研修で得た知識と機構の出前講座を活用したときに講師として来ていた機構の自治体ファイナンス・アドバイザーに相談し

ながら、借入時に見直し時の利率決定をルール化することで人事異動などにより担当者が替わってもその時の金利情勢に即した利率で見直しができるよう覚書の締結を目指しました。その内容は借入決定時の利率を基準金利とスプレッドに分け、基本的には見直し時にもスプレッドは一定として基準金利の変動幅の分だけ利率を変動させるというものです。

基準金利は議会や住民への説明責任を考慮し、国債利回りやTIBORといった広く公表されている指標を使用し、定期償還方式での借入れを考慮して平均償還年限の考えを取り入れたい旨を各金融機関にお願いしました。

借入利率の見積りの段階から各金融機関に覚書の必要性について説明をしていたこともあり、覚書を締結することについてはスムーズに話を進めることができましたが、覚書の内容についてはそれぞれの金融機関で基準金利や平均償還年限の考え方の導入に関して大きな違いがあったことから、すべての金融機関と当市が理想とする内容の覚書を締結することはできませんでした。今後も基準金利や平均償還年限の考え方を粘り強く交渉していく必要があると感じています。

今回の取組みは研修で得た知識を活用した資金調達のちょっとした事務改善です。研修で得た知識を知識だけで終わらせず、日頃の業務に活用することが大事です。出水市では市町村職員中央研修所（JAMP）や全国市町村国際文化研修所（JIAM）で開催される研修に参加することで新しい知識の習得と知識の継承を図り、少しずつでも日頃の業務に活かせるよう取り組んでいます。

例 借入時利率1% 5年見直し 基準金利を国債利回り(0.6%)とした場合

国債利回りは財務省HPで確認
覚書に「基準金利0.6%（国債利回り）+ スプレッド0.4%」であることを明記

借入時

基準金利 0.6%

スプレッド 0.4%

5年後の利率見直し時に
基準金利が0.3%になって
いた場合

基準金利の変動分
だけ利率を変動させるスプレッドは当初
借入時から固定

基準金利 0.3%

スプレッド 0.4%

見直し後の利率 = 0.7% (基準金利 0.3% + スプレッド 0.4%)

出水市の紹介

出水市は、鹿児島県の北西部に位置し、北は八代海、熊本県水俣市と接しており、平成18年3月、同じ出水平野にある歴史、文化、経済面で強い結びつきがあった旧出水市、旧高尾野町、旧野田町の1市2町が合併し、新出水市として誕生しました。

人口は約55,000人、世帯数は約25,000世帯、総面積は329.98平方キロメートルで、鹿児島県の3.6パーセントを占め、南に標高1,067メートルの紫尾山、北に矢筈山系の山々を背に、扇状地として広がる出水平野、市内を流れる米ノ津川、これらが育む豊かな自然の恩恵を受けた農林水産業を基幹産業とした田園都市です。

九州新幹線の停車駅の出水駅があり、今後、九州西回り自動車道の整備が進めばさらに九州縦断の交通アクセスが充実します。

出水平野は日本一のツルの渡来地であり、地域住民の暖かい保護により次第にその数を増し、昨シーズンは観測史上最高の17,005羽が飛来し、19年連続の万羽鶴となりました。目前に広がる出水平野に舞う万羽鶴の姿や声は見る人に大自然の感動を誘います。

また、薩摩・島津家発祥の地でもあり、島津氏初代から5代の墓碑等の史跡や国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている出水麓武家屋敷群があります。出水麓武家屋敷群は、薩摩藩最大規模を誇る外城であり、広さは44ヘクタールにも及び、東西南北に通る街路、その両側に築かれた玉石垣や生垣、あるいは庭の木々が武家門や垣間見える武家屋敷と相まって、四百年の時を経た今日でも往時の面影をとどめています。



出水市の概要

| | |
|----------|------------------------|
| 人口 | 55,004人(平成28年1月1日現在) |
| 世帯数 | 24,937世帯(平成28年1月1日現在) |
| 面積 | 329.98km ² |
| 普通会計歳入総額 | 27,300,521千円(平成27年度決算) |
| 普通会計歳出総額 | 25,847,840千円(平成27年度決算) |
| 標準財政規模 | 16,229,358千円(平成27年度決算) |
| 財政力指数 | 0.38(平成27年度決算) |
| 実質公債費比率 | 7.7% |



私達、地方支援部では地方公共団体の資金調達等のサポートを通じて、皆様のお役に立てるよう日々研鑽しています。
今回は、出前講座・実務支援の活用事例についてお伝えします。

使ってますか？「出前講座」&「実務支援」



はい！いずれの場合も、「出前講座」の対応が可能です！

- 講師旅費／謝金は必要ありません
- 開催日程や時間はご要望に合わせて調整します
- 何回でもご利用いただけます
- 講義内容はご要望に応じて調整します
- 受講人数の多少は問いません

そして、困ったときは、「実務支援」をご活用ください！

電話、メールでの相談はもちろん、ご希望に合わせて訪問します！
個別の課題には、金融の専門知識や実務経験を有する**自治体ファイナンス・アドバイザー**が、地方公共団体の資金調達等における課題や疑問の解決に向け、専門的なアドバイスを提供します。



実際の活用例

講義テーマはカスタマイズできます!
詳しくはホームページをご覧ください!



10:00～12:00 地方債の金利総論・実践スプレッド分析

地方債における「ものさし」となる金利の考え方を学びます。

13:00～14:30 日本経済と金利の動向

マイナス金利政策導入後の資金調達・運用の状況と今後の戦略について学びます。

14:40～17:00 地方債の借入交渉

①指定金融機関と入札方式、②借入期間と固定金利方式、③金利見直し方式、
④変動金利方式、⑤基準金利の考え方、⑥据置期間、⑦借入時期の各テーマについて、
動画素材を用いながら、金融機関との交渉のポイントを学びます。

17:00～17:30 全体を通じた質疑応答・意見交換



出前講座・実務支援実施までの流れ(訪問の場合)



*上記の他、電話・メールでの実務支援も行っておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ・お申込みはこちら 地方公共団体金融機構 地方支援部

TEL | 03-3539-2676 (調査企画課)

03-3539-2677 (ファイナンス支援課)

HP | <http://www.jfm.go.jp/support>

Mail | chihoushien@jfm.go.jp

長期金利のマイナス化について

- 長期金利がマイナス化していることについてご説明いたします。
- 1つ目は、流通市場で、日本銀行が国債を大量に買入れしていることに起因する「国債」の「流通利回り」のマイナス域の拡大です。
- 2つ目は、金融機関が保有する日本銀行当座預金に▲0.1%のマイナス金利を適用していることです。

1. 日本銀行による国債の大量買入れによる「国債利回り」のマイナス化

前回の「基金運用 ひとくちメモ」にてご説明したとおり、日本銀行は平成25年4月に「異次元緩和(量的・質的金融緩和)」を始めましたが、平成26年10月に長期国債の保有残高が年間80兆円(約30兆円増加)に相当するペースで増加させるよう、買入れを行うこととしました。最近では平成28年9月の日銀金融政策決定会合において、「長短金利操作付き量的質的金融緩和」(イールドカーブコントロール)を行うことを決定し、10年物国債金利が概ね現状程度(ゼロ%程度)で推移するよう長期国債の買入れを行うこととしました。

ここで復習です。債券の「価格」と「利回り」の関係は以下のような関係となっています。

債券の価格が上昇 = 債券の利回りが低下 ←→ 債券の価格が低下 = 債券の利回りが上昇

日本銀行が国債を大量に買入れる際、価格をオーバーパーで買う(ex.額面金額「100円」→買入金額「102円」)によって、上記のシーソーの関係でいう「債券の価格が上昇」=「債券の利回りが低下」の効果が働き、利回りの低下が進んでいるのです。

その結果として、長期国債の買入れ増加前後における国債の利回りは以下のような状況となっているわけです。(単位:%)

| 基準日 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 7年 | 8年 | 9年 | 10年 | 15年 | 20年 | 25年 | 30年 | 40年 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| H26.10.31 | 0.025 | 0.03 | 0.05 | 0.082 | 0.13 | 0.158 | 0.221 | 0.305 | 0.382 | 0.466 | 0.874 | 1.289 | 1.476 | 1.591 | 1.741 |
| H28.10.28 | ▲0.308 | ▲0.248 | ▲0.234 | ▲0.207 | ▲0.189 | ▲0.183 | ▲0.172 | ▲0.133 | ▲0.097 | ▲0.045 | 0.138 | 0.394 | 0.465 | 0.516 | 0.577 |

出典：財務省 国債金利情報

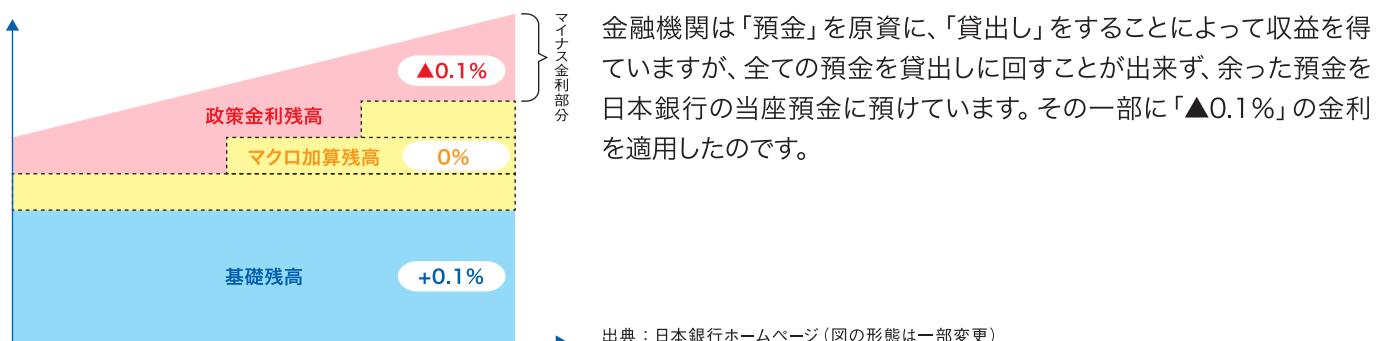
2. 金融機関が保有する日本銀行の当座預金の一部に「▲0.1%」のマイナス金利を適用

平成28年1月の日銀金融政策決定会合において、以下の政策が決定されました。

- 金融機関が保有する日本銀行当座預金に▲0.1%のマイナス金利を適用。今後、必要な場合、さらに金利を引き下げる。
- 欧州(スイスなど)で採用されている階層構造方式とした。具体的には3つの階層毎に、プラス・ゼロ・マイナス金利とする。

上記を図示すると、以下のとおりとなります。

金融機関が日銀に開設する当座預金への付利を区分



マイナス金利政策は、上記2つの施策によって行われているわけです。

そして、「量的・質的金融緩和政策」と「マイナス金利政策」の2つの効果を組み合わせて、「イールドカーブコントロール」をしよう!というのが今の日本銀行の金融政策です。

借り入れの下限金利について

- 「マイナス金利」政策導入の結果として、イールドカーブ（利回り曲線）はかつてない水準まで引き下げられ、フラット化が進行しました。
- これらの結果として、10年物までの国債利回り等がマイナスとなりました（平成28年10月現在）。それに伴い、金融機関は貸出利率がマイナスに陥ることがないよう、「下限金利の設定」を要請するようになりました。
※平成28年11月末時点においては、10年物国債利回りはプラスに変化しています。

金融機関から借り入れる際、「スプレッドプライシング方式（基準金利+スプレッド）」で金利を決定し、金利見直し方式や変動金利方式を採用している場合、その基準金利やスプレッド幅によっては、金利見直し時等に利率がマイナスになるケースが想定されます。このため、こうしたことを背景として、貸出利率がマイナスに陥ることがないよう、金融機関が**下限金利の設定**を要請するケースがでております。

（例）金利見直し方式、見直し日（平成28年7月6日）、基準金利＝国債利回り（10年）、スプレッド0.1%

→ 7/6 基準金利▲0.278%+スプレッド0.1%＝▲0.178%（貸出利率）

具体的には以下のとおりです。

下限金利の設定要請内容（例）

①

貸出利率 ≥ 0



上記の例であれば、貸出利率=0%

（考え方）

金利は元本借入の対価という考え方方に立ち、0%を下限とするもの。

②

基準金利 ≥ 0



上記の例であれば、貸出利率=0.1%

（考え方）

金融機関に対するスプレッド相当額の支払いを最低限保証するもの。



長期金利のマイナス化は金融機関の
貸出利率にも影響するんだね



人事交流日記 & ふるさと紹介

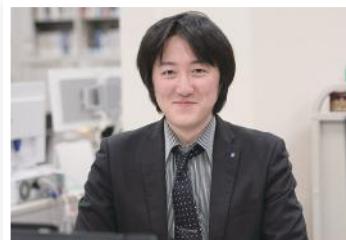


資金部資金課 杉山 潤一 山形県から派遣

資金課では機関の貸付原資となる資金調達業務を行っており、私が担当しているのは非政府保証債の発行に関わる業務です。刻々と変化する市場環境に注目しながら業務に臨んでいます。

赴任した当時は、難解な証券用語やスピーディーな会話についていくことがやっとでしたが、同僚や上司に支えられながら順調に業務をこなすことができるようになりました。成長を感じています。

2年目も後半に入りましたが、残り期間で多くの知識やスキルを身につけたいと思います。



山形県は、世界的にも珍しい樹氷で有名な蔵王、靈験あらたかな出羽三山（羽黒山、月山、湯殿山）などの名峰、松尾芭蕉も訪れた山寺、舟下りで秋の紅葉を楽しめる最上川など豊かな自然や、全国一の生産量を誇るサクランボや絶品の米沢牛をはじめとした名物グルメが盛りだくさんです。

また、海と美しい夕日と露天風呂がそろった湯野浜温泉、雪景色に大正ロマンの街並みが映える銀山温泉といった特色ある温泉地が多くあるのも魅力的です。

目で見、耳で感じ、舌で味わいに、休日はぜひ山形県にお越し下さい。

融資部融資管理課 近添 庄司 高知県から派遣



融資管理課では、地方公共団体への貸付金の債権管理を業務としており、繰上償還等の審査のほか、貸付金が適正に使用されているかなどを調査する地方金融状況調査を担当しています。

地方金融状況調査では、全国各地の団体を訪問させていただきました。貸付金について金融機関の視点から調査を行うことには難しさもありましたが、派遣元とは異なる各地域の課題や強みなどについても直接お話を伺うことができたことは、大変貴重な経験となりました。

機構での勤務も残り少なくなりましたが、債権管理業務を通して少しでも地方公共団体の皆様方のお役に立ちたいと思っております。

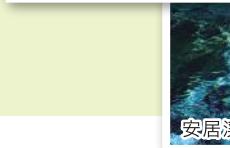
高知県といえば何を連想しますか。坂本龍馬、高知城、桂浜、龍河洞、鰐などでしょうか。

歴史を辿る旅や食を味わう旅もおすすめですが、私が高知県の魅力のひとつとしておすすめするのは「川」です。

高知県は県土の約84%が森林で覆われており、その森林を伝い磨かれた水が、日本最後の清流といわれる「四万十川」や、全国屈指の透明度を誇り仁淀ブルーと称される青く美しい水で有名な「仁淀川」に代表される美しい川を作り出しています。

上流では渓谷の絶景が、中流ではカヌーや手漉き和紙体験が、下流では悠久と流れる穏やかな風景が、河口ではサーフィンに最高の波が、あなたをお待ちしています。

美しい川の流れに癒されに高知県を訪れてみませんか。



融資部融資課 滝谷 肇 山形県庄内町から派遣

融資課で利率算定業務を担当しております。地元、庄内町では全くなじみの無かった横文字だらけのデスクワークにあたることとなり、役場の仕事と言えば田んぼ巡りや雪下ろしだと認識していた私の世界観が根底から覆りました。

また、日本銀行のマイナス金利政策導入というおよそ経験できなかったことに出くわすなど、今後の人生において二度とないであろう経験をたくさん積んでおります。

全国から機構に集まった素晴らしい能力を持つ方々に助けられ、何とかここまでたどり着けました。機構で得た優れたノウハウを、地元で広げていくことが今後の目標です。



「月の沢温泉 北月山荘」と周辺の緑
(秀峰鳥海山を望む)



出羽三山の主峰「月山」山頂と神社
(秀峰鳥海山を望む)

庄内町は山形県の日本海側、庄内地方のほぼ中心に位置しています。町内には山岳信仰の聖地である出羽三山の主峰、月山山頂を有します。

その月山を水源とする「平成の名水百選 立谷沢川」や最上川の恩恵を受け、米作りが盛んで、ブランド米「つや姫」のルーツが存在します。

また、「新撰組」の前身である「浪士組」を結成した清河八郎の出身地でもあります(詳しくはWebで検索してください!)。

さらに月山登山のベースキャンプである「月の沢温泉 北月山荘」や、プロジェクトXで特集された黒字経営の風力発電施設、超有名シェフ奥田政行氏プロデュースの焼肉店「やくけっちゃんの」に、ハイカラなギャラリー温泉「町湯」、平成28年10月開業「道の駅しうない」と、観光をお楽しみいただける環境がそろっております。庄内平野にお越しの際は、ぜひ庄内町を訪れてみてください!

編集後記

JFM だより第 20 号をお届けします。今号の発行にあたり、ご協力いただいた皆さんに改めて深く感謝申し上げます。

今号の「融資の実」の取材では広島カープ 25 年ぶりのリーグ優勝・日本シリーズ進出に沸く広島県の呉市を訪れました。取材日の翌々日が日本シリーズ第 1 戦ということも手伝ってか、広島はカープ一色となっており、夜もとても賑わっていました(Fさん、Hさんありがとうございました。)。

呉市は臨海都市でありながら、山にも囲まれ、また島しょ部も併せ持つ、豊かな自然に恵まれたまちでした。港湾エリアから穏やかな瀬戸内海を眺めていると、日本海の荒波を見て生まれ育った自分的心も穏やかになったような気がしました。(斎勝)

機構からのお知らせ

派遣職員を募集しています

機構では、全国の地方公共団体から派遣された多くの職員が活躍しています。

機構で一緒に働く職員を募集しています。

派遣職員が従事する主な業務は、貸付業務、資金調達業務、地方支援業務です。

派遣職員向けに充実した研修制度があります（地方財政と金融に関する研修、資金調達及び資金運用にかかる金融知識の習得を目指す宿泊型研修等）。

ご連絡先

この派遣は、地方三団体（全国知事会、全国市長会、全国町村会）の斡旋により実施しておりますので、お問い合わせにつきましては、**各事務局**又は**地方公共団体金融機関企画部秘書役室**（TEL:03-3539-2629）へお願いします。

写真募集中 ▶



機構では、広報誌の表紙や、ホームページのトップページに掲載する写真を募集しています。



機構に対するご意見をお寄せください ▶

「融資の実」、「がんばる公営競技」のコーナーにつきまして、皆様からの記事募集を行っています。また、他のコーナーにつきましても、掲載希望や内容に関するご質問がありましたらお寄せください。

ご連絡先

企画部企画課広報担当

TEL:03-3539-2674

mail: info@jfm.go.jp



JFM債買ってます！

伊勢市では、保有している基金をより有利に運用する試みとして、長期の債券による運用を開始しました。安全な運用を最優先とするうえで、安全かつ有利で定期的に発行されているJFM債を運用商品の一つとして活用しています。

現在、伊勢市では「伊勢志摩サミット」が開催された優位性を活かし、国内外での知名度を向上させる取り組みを進め、世界中の方々から「訪れてみたいまち」「国際観光都市・伊勢」というブランドを創り上げたいと考えています。

また、2017年4月21日から5月14日には「お伊勢さん菓子博2017」が開催されます。これを機にぜひ伊勢市へご来訪ください。

こうした取り組みを支える財政基盤の強化に、JFM債の運用益を活用して参ります。



三重県伊勢市

情報戦略局財政課

中西さんと

観光PRキャラクター はなてらすちゃん